

PRS-D700

取扱説明書

車への取り付けは、必ずこの取扱説明書と別冊の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

販売店様へ

接続、取り付け作業が完了しましたら、この取扱説明書をお客様へお渡しください。

※別売製品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も併せてご覧ください。

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

●カーオーディオ／カーナビゲーション商品のご相談窓口およびカタログのご請求窓口

電話：☎ **0120-944-111** 【一般電話】 **044-572-8101** FAX： **044-572-8103**

<ご注意>

- 「0120」で始まる ☎フリーコールは、携帯電話・PHS一部のIP電話などからは、ご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHS・IP電話などからご利用可能ですが、通話料がかかります。正確なご相談対応のために折返しお電話をさせていただく場合がございますので発信者番号の通知にご協力いただけますようお願いいたします。
- 修理に関しては、別添えの『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>
※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

VOL.045

パイオニア株式会社

〒212-0031

神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号

© パイオニア株式会社 2011

<KKMZ> <11L00000> <CRA4521-A/S>

carrozeria

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

■表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意（別冊の「安全上のご注意」もお読みください。）



警告

【異常時の処置】

故障のまま使用しない



画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

異常のまま使用しない



万一、内部に異物が入った・水がかかった・煙が出る・変なにおいがするなど異常が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

おもな仕様

パワーアンプ部

最大出力：
250 W × 2 (4 Ω、2 ch)
600 W × 1 (4 Ω、1 ch BRIDGE)

定格出力：
125 W × 2
(14.4 V、20 Hz～20 kHz、≤0.8 % THD、4 Ω)
300 W × 1
(14.4 V、1 kHz、≤0.8 % THD、4 Ω BRIDGE)
150 W × 2
(14.4 V、1 kHz、≤0.8 % THD、2 Ω)

負荷インピーダンス：
4 Ω (2 Ω～8 Ω使用可能)

周波数特性：
10 Hz～30 kHz (+0 dB、-3 dB)

S/N比：
105 dB

高調波歪率：
<0.004 % (4 W、1 kHz)

セパレーション：
70 dB (10 W、1 kHz)
65 dB (10 W、100 Hz～10 kHz)

ゲインコントロール：
400 mV～6.5 V

最大入力レベル／インピーダンス
RCA：
6.5 V／22 kΩ

一般

使用電源：
14.4 V DC (10.8 V～15.1 V使用可能)

アース方式：
マイナスアース方式

消費電流：
23 A (定格出力時、4 Ω)

平均消費電流*：
6.4 A (2チャンネル時、4 Ω)
4.1 A (1チャンネル時、4 Ω)
8 A (2チャンネル時、2 Ω)

ヒューズ：
30 A

外形寸法 (W × H × D)：
255 mm × 50 mm × 104 mm

質量：
1.6 kg

付属品

取付キット：
1式

サービス窓口のご案内：
1

安全上のご注意：
1

取扱説明書：
1

保証書：
1

メモ

- 上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。

* 平均消費電流とは、音声信号を入力したときに本機が消費する最大に近い平均電流です。複数のパワーアンプをご使用になるときに、総消費電流の算出にご利用ください。

安全のために

⚠ 感電事故を防止するために

- 濡れた手で本機に触らないでください。感電するおそれがあります。また、本機が濡れているときも触らないでください。
- 感電事故を防止するため、濡れやすい所には本機を取り付けしないでください。

⚠ 音量は控えめに

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

⚠ 安全にご使用していただくために

- ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量 (アンペア数) のヒューズをご使用ください。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります (バッテリーパワーコードのヒューズは 30 A×2、本機のヒューズは30 Aです)。
- 本機には、本機およびスピーカーの故障を防止する、保護機能があります。

以下の状態の場合、出力をミュートします (音が出なくなります)。

- スピーカー端子にDC電圧が発生した場合
- 製品内部電源の電圧に異常があった場合
- スピーカー出力端子またはスピーカーコードがアースに接続した場合

以下の状態の場合、パワーインジケータが消え、アンプがシャットダウンします。

- 製品内部の温度が高くなった場合
- 入力電圧が異常になった場合

このようなときはシステムの電源を切り、電源およびスピーカーの配線をチェックし、保護機能が働いた原因を解決してください。

- ヒューズが切れた原因や保護回路が働いた原因がわからないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

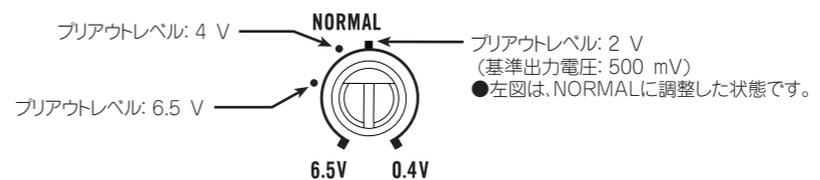
⚠ 接続・取り付けに関するご注意

- 接続／取り付けの作業前は、必ずバッテリーの⊖端子を外してください。ショート事故による感電やケガの原因となります。
- 本機の放熱効果を損なわないように、次のことに注意して取り付けてください。
 - * 本機を風通しの良い所に設置してください。
 - * フロアマットやカーペットなどで本機を覆わないでください。
- 本機は必ず平らな場所に取り付けてください。平らでない場所や突起物の上には取り付けしないでください。故障の原因となります。
- 本機を取り付ける際は、ネジなどの部品を挟み込まないように注意してください。故障の原因となります。
- 車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類／タンク／電気配線などの位置を確認のうえ、これらと干渉や接触することがないように注意して行ってください。火災の原因となります。
- ショート事故防止のため、端子やコードが足や荷物に当たらないように設置してください。
- 本機を持ち運ぶ際は中央をお持ちください。ターミナルカバーを持つと、カバーが外れて本機が落下する恐れがあり、ケガの原因となります。

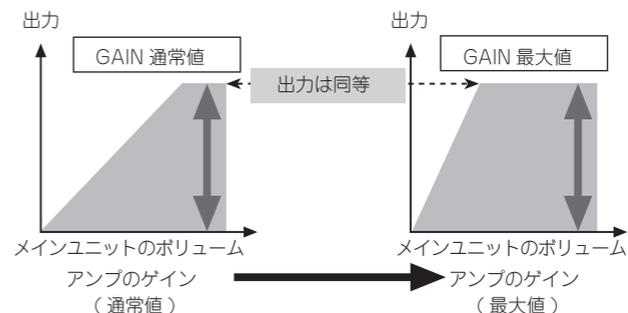
各部のなまえと使いかた

ゲインコントロールの設定

- この製品には、過大出力、誤配線、および誤使用などから本機やスピーカーを保護する機能があります。
- この保護機能により、大音量で音楽を再生しているときに、数秒間音声が入切れることがあります。ただし、メインユニットのボリュームを下げたときに、音声が入切れず再生される場合は故障ではありません。
- 音声が入切れて再生される場合は、アンプの「ゲインコントロール」が正しい位置に設定されていない可能性があります。このときは、次の操作を行ってください。
 - ・メインユニットの最大プリアウトレベルに合わせた「ゲインコントロール」位置に設定することで、出力を下げずに、大出力をコントロールできます。
- 次の場合は、最寄りの修理受付センターにお問い合わせください。
 - ・メインユニットのボリュームを下げても音が入切れる
 - ・アンプの「ゲインコントロール」を正しい位置に調整しても音声が入切れる

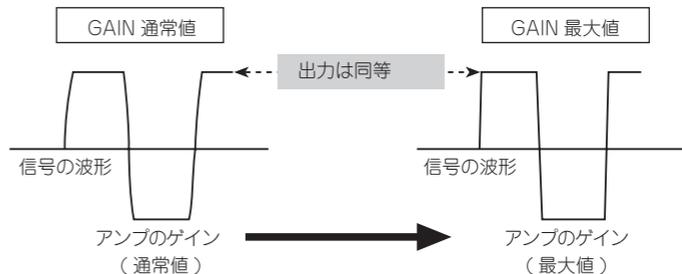


アンプのゲインとメインユニットのボリュームの関係



- アンプのゲインコントロールを必要以上に上げてても、出力される音声レベルは変わりません。ただし、音声の歪みが増加します。

アンプのゲインでボリュームを大きく出力した場合の信号の波形



- 過大な出力によって波形に歪みが生じている場合は、アンプのゲインコントロールを上げてても、出力される音声レベルは変わりません。

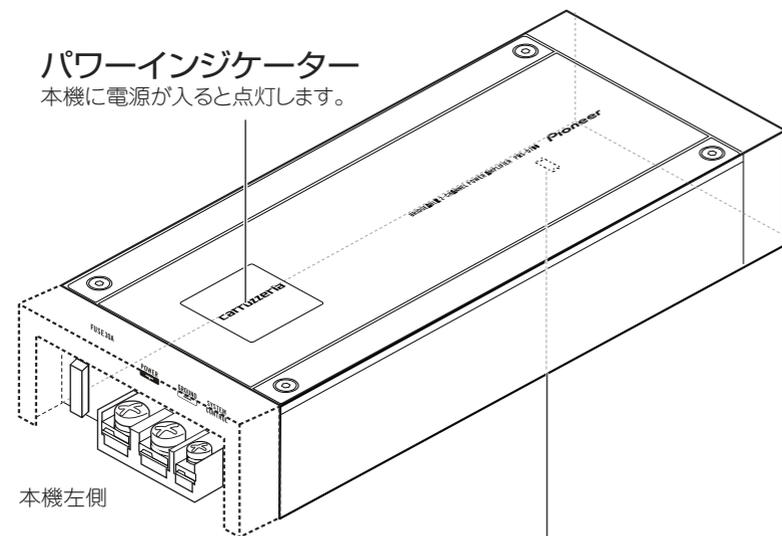
各部のなまえと使いかた

本機に接続するスピーカーの使用目的に合わせて正しく設定してください。

- 入力切換スイッチやゲインコントロールを切り換えるときは、必要に応じてマイナスインプリを併用してください。

パワーインジケータ

本機に電源が入ると点灯します。

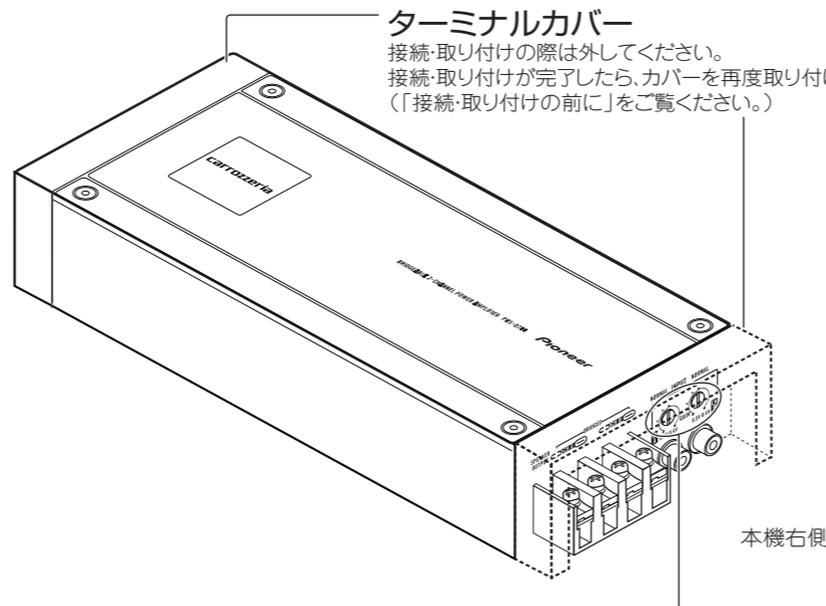


入力切換スイッチ(底面)

- 1チャンネル(モノラル)の接続時は、スイッチを1CHに切り換えてください。
- 2チャンネル(ステレオ)の接続時は、スイッチが2CHの位置になっているか確認してください。

ターミナルカバー

接続・取り付けの際は外してください。
接続・取り付けが完了したら、カバーを再度取り付けます。
(「接続・取り付けの前に」をご覧ください。)



ゲインコントロール

接続したカーステレオの出力レベルに、本機の入力レベルを合わせるために使います。本機と組み合わせているカーステレオのボリュームを上げてても音量が不足していると感じたときは、ゲインコントロールつまみを右側に回します。また、ボリュームを上げたときに歪みを感じる際には、ゲインコントロールつまみを左側に回してください。

- RCA入力チャンネルAのみを使用してブリッジ(モノラル)接続するときは、チャンネルAとチャンネルB用のゲインコントロールつまみを同じ位置にしてください。
- パイオニア製のRCA出力付きカーステレオ(基準出力電圧500 mV)と組み合わせるときは、NORMALの位置が目安になります。RCA最大出力が4 V以上のパイオニア製のカーステレオと組み合わせるときはゲインコントロールを左側に回して調節してください。

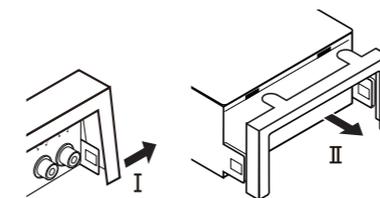
接続・取り付けの前に

本機を接続して取り付ける前にターミナルカバーを取り外す必要があります。以下の手順に沿ってカバーを取り外し、本機を取り付けた後はカバーを付けてください。

取り外しかた

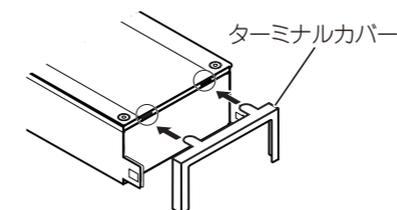
- 1 ターミナルカバーの下側側面を広げながら(I)、手前に引き出す(II)

プラスチック製のターミナルカバーのみを外側に開いて取り外してください。



取り付けかた

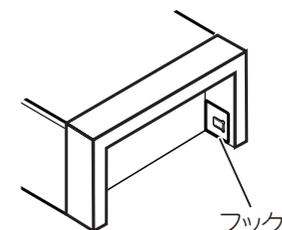
- 1 ターミナルカバーを広げながら、本機上部の差し込み口に入れます



- 2 ターミナルカバー上部の両端を押して、差し込まれているか確認します

- 3 ターミナルカバー下部を内側に向かって押します

側面のフックが差し込まれているか確認してください。



フック

接続のしかた

接続上のご注意

- 本機の電源は、必ず RD-226 (別売) のバッテリーパワーコード (赤) を使用して、車のバッテリーに直接接続してください。また、アースは RD-226 (別売) のアースコード (黒) を使用して、車のボディに接続してください。(RD-226 (別売) のバッテリーパワーコードとアースコードは、本機を安全に接続できるように設計されています。)
- 芯線をむき出したままのコードを、本機の電源端子 (パワー端子、アース端子、システムリモートコントロール入力端子) に接続しないでください。芯線が外れたり切れたりして、発火やショートの原因となります。
- コードを接続した端子ネジは、時間がたつと緩むことがあります。端子ネジが緩んでいないか定期的に点検してください。また、必要に応じて端子ネジを締め直してください。
- スピーカーコードは、太さが 10 AWG ~ 16 AWG のものを使用してください。
- スピーカーコードを直接アースに接続したり、複数のスピーカーの ㊦ リード線を共通にして接続しないでください。
- 本機と組み合わせるスピーカーは、次の規格のものを使用してください。規格以外のスピーカーのご使用は、発火・発煙・破損の原因となります。なお、インピーダンスが 2 Ω から 8 Ω (ブリッジ接続の場合 4 Ω から 8 Ω) のスピーカーを使用してください。

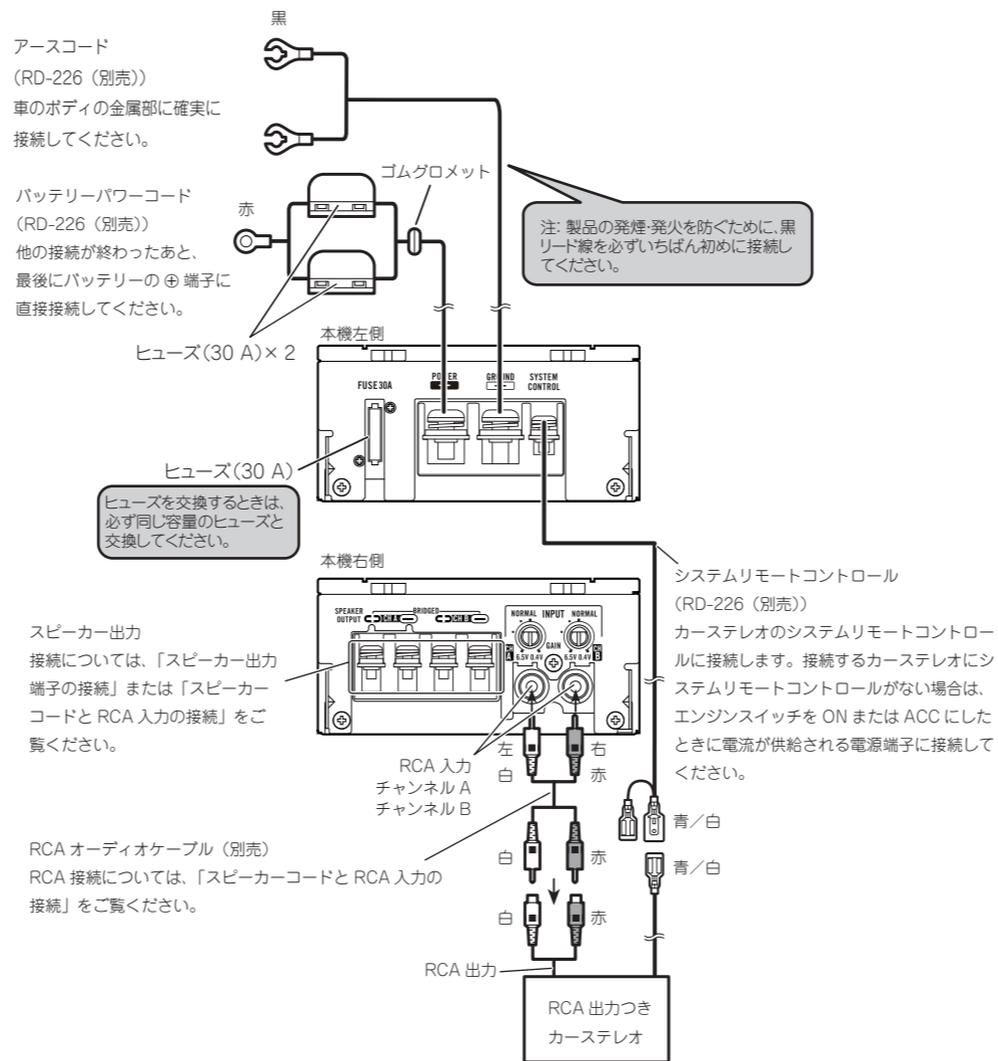
スピーカー		規格 (耐入力)
チャンネル	種類	
2 チャンネル	サブウーファー	定格入力 125 W 以上
	サブウーファー以外	最大入力 250 W 以上
1 チャンネル	サブウーファー	定格入力 300 W 以上
	サブウーファー以外	最大入力 600 W 以上

- カーステレオの電源を ON にしたままで長時間アイドリングを行っているとき、バッテリーがあがるおそれがあります。アイドリング中はカーステレオの電源を OFF にしてください。
- RD-226 (別売) の青 / 白リード線 (システムリモートコントロール) を、エンジンスイッチを ON または ACC の位置にしたときに電源が供給される電源回路に接続する場合、カーステレオの電源を OFF にしても、本機の電源は OFF になりません。この状態のまま長時間アイドリングを行っているとき、バッテリーがあがるおそれがあります。

メモ

- アースコードを確実に接続するため、塗装されている部分に接続する場合は、あらかじめサンドペーパーなどで塗装をはがしてください。

- バッテリーパワーコード (赤) は、スピーカーコードからできるだけ離して取り付け、配置してください。また、バッテリーパワーコード、アースコード、スピーカーコード、および本機は、アンテナ、アンテナコード、およびカーステレオからできるだけ離して取り付け、配置してください。

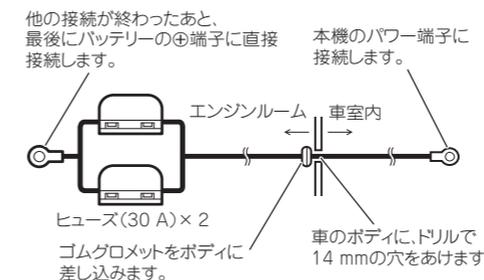


電源コードの接続

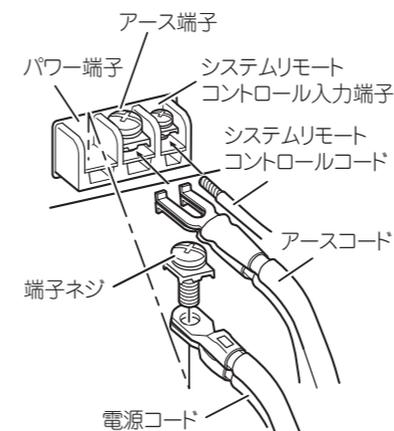
- 本機の電源は、必ず RD-226 (別売) のバッテリーパワーコード (赤) を使用して、車のバッテリーに直接接続してください。また、アースは RD-226 (別売) のアースコード (黒) を使用して、車のボディに接続してください。(RD-226 (別売) のバッテリーパワーコードとアースコードは、本機を安全に接続できるように設計されています。)

1 バッテリーパワーコードをエンジンルームから車室内へ通します

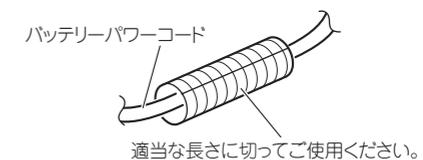
- ショート事故防止のため、バッテリーパワーコードのバッテリーへの接続は、他の接続が終了したあとに行ってください。



2 各端子にコードを接続します



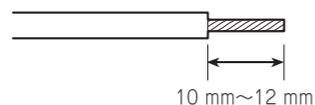
- バッテリーなどの位置によって、高温となる場所にバッテリーパワーコードを配置しなくてはならない場合は、RD-226 (別売) に付属のコルゲートチューブでバッテリーパワーコードを保護してください。



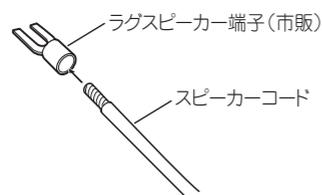
スピーカー出力端子の接続

●スピーカーコードは、太さが10 AWG ~ 16 AWGのものを使用してください。

- 1 スピーカーコードの芯線をニッパーやカッターなどで10 mm ~ 12 mm くらいむき出します

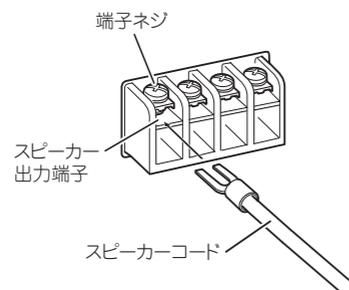


- 2 市販されているラグスピーカー端子をスピーカーコードの先に付けます



- 3 スピーカー出力端子にスピーカーコードを接続します

端子ネジでしっかりと固定してください。

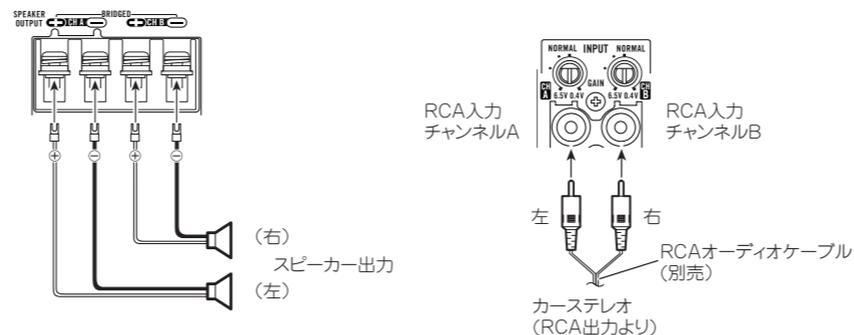


スピーカーコードとRCA入力の接続

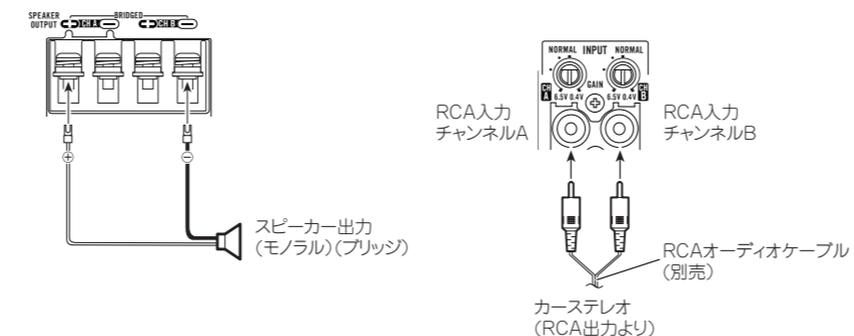
本機は、2チャンネルまたは1チャンネルのいずれかのRCA入力で使用できます。図を参考に、使用目的に合わせて接続してください。

2チャンネル(ステレオ)入力時の接続例

2つのスピーカーに接続する場合(左、右)



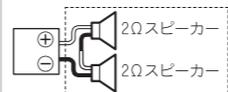
1つのスピーカーに接続する場合(ブリッジ接続)



ブリッジ接続時のご注意

●ブリッジ接続時に複数のスピーカーを使用する場合は、発火・発煙・破損を防ぐために、合成インピーダンスが4Ωから8Ωになっていることを確認してください。

合成インピーダンス4Ω



合成インピーダンス4Ω



このような接続はしないでください。
合成インピーダンス2Ω

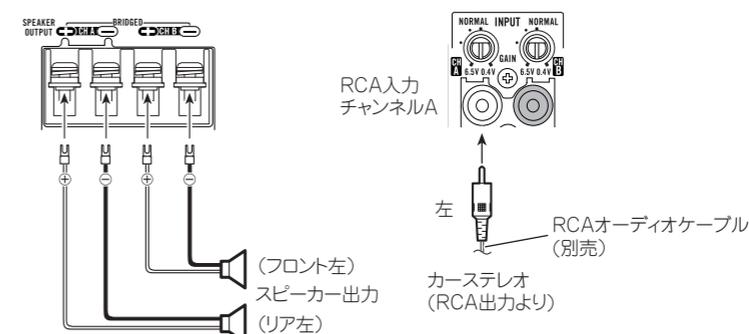


1チャンネル(モノラル)入力時の接続例

1チャンネル(モノラル)接続の場合、入力切換スイッチを1CHに切り換えてください。スイッチについては、「各部のなまえと使いかた」をご覧ください。

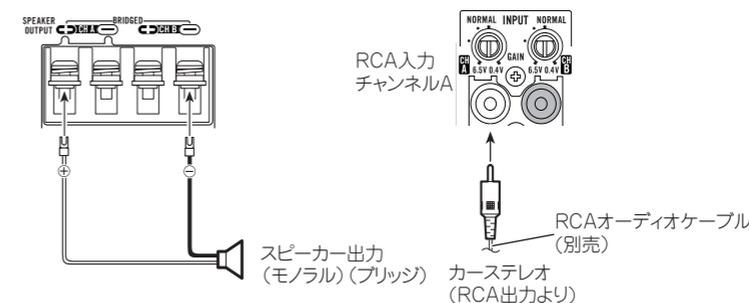
1チャンネルのみを使用する場合、RCA入力端子のチャンネルAに接続してください。

2つのスピーカーに接続する場合(フロント左、リア左)



チャンネルAに入力した音が、両方のスピーカー出力から出ます。

1つのスピーカーに接続する場合(ブリッジ接続)

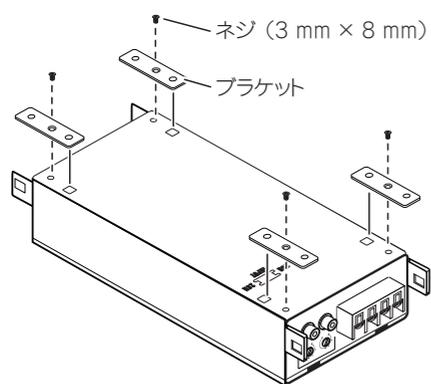


取り付けのしかた

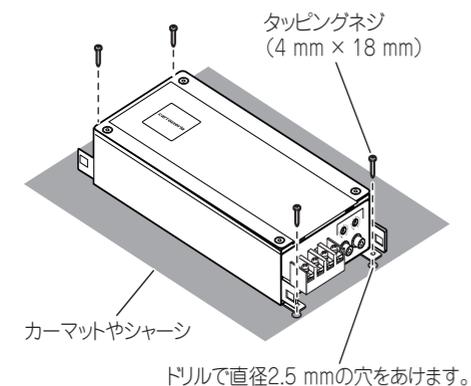
📌 取り付け・固定の前に

- まず仮接続をし、本システムが正常に動作することを確認してください。動作しない場合は、接続・設定に誤りがないか、ヒューズが切れていないか、もう一度チェックしてください。
- 車に取り付けた状態でスペアタイヤ、ジャッキ、工具などが取り出せることを確認してください。

1 本機の裏側にブラケットを付けます



2 本機を取り付けます



動作を確認する

接続・取り付けが終わったら、次の操作を行って、本機が正常に動作することを確認してください。

1 接続・取り付けをもう一度確認します

接続・取り付けに誤りがないか、各コネクタが確実に接続されているか、もう一度目で見て確認してください。

2 車のエンジンをかけます

3 本機の動作を確認します

本機およびシステムが正常に動作することを確認してください。(各スイッチの設定については、「各部のなまえと使いかた」をご覧ください。) 動作しない場合は、接続に誤りがないかもう一度チェックしてください。

故障かな?と思ったら

ちょっとした接続・設定のミスなどで故障と間違えることがあります。故障かな?と思ったらときは、次のことを行ってください。

1 接続・設定にミスがないかを、もう一度確認してください

2 接続・設定にミスがなかった場合は、「保証書とアフターサービス」をご覧ください。

分解はしないでください。

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くの修理受付センター（沖縄県のみ 沖縄サービス認定店）にご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「サービス窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くの修理受付センター（沖縄県のみ 沖縄サービス認定店）にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問、ご相談は

カーステレオに関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。